

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 内 容
<p>1 実践1 【さわやかマナーアップ週間 創立記念あいさつ運動】</p>	<p>さわやかマナーアップ週間では、進んであいさつができるように運営委員会の児童が中心となって朝の登校時にあいさつを行った。</p> <p>創立記念週間では各委員会の児童が日替わりで昇降口にたってあいさつ運動をした。</p> <p>看護目標に「あいさつ」を取り入れ、各学級で取り組んだ。</p> <hr/> <p>成果</p> <p>あいさつ運動を期間を決めて行うことにより、あいさつをする意識が高まり、自分からあいさつをする児童が増えた。</p> <hr/> <p>課題</p> <p>活動の期間の後しばらくは自主的にあいさつをする児童が多くなるが、時間がたつと自主的にあいさつをする児童が減ってしまう。年間を通して継続的な取り組みが必要である。</p>
<p>2 実践2 【創立記念週間 なかよし集会 地域との交流】</p>	<p>今年は創立50周年であったので、「いじめ0集会」を「なかよし集会」として創立記念集会の中に含めて行った。各学級で全児童が「みんな仲良しになるにはどうしたらいいか」を考え、自分ができることを誓いとして書き教室に掲示した。</p> <p>また、各学級で「なかよしスローガン」を決め、創立記念集会で発表した。スローガンは人権コーナーに掲示した。</p> <p>創立50周年に当たり、全校児童がこんな滑川小にしたいという願いを込めて滑川小のシンボルマークを作成し掲示した。その中から代表を選び、記念壁画を制作した。</p> <p>地域交流では、4年生が「ほたる少年団」を結成し地域の人と協力して北川の清掃を行ったり自分たちの調べたことを発表したりした。</p> <hr/> <p>成果</p> <p>創立記念週間の様々な行事を通して「いじめのない学校」、「みんなが仲良しの学校」を作るにはどうしたらいいかを考えることができた。</p> <p>地域との交流を通して協力して生活する楽しさや良さに気づき、進んで教え合ったり助け合ったりする態度を育てることができた。</p> <hr/> <p>課題</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年も全校での集会ができなかった。また、北川清掃も予定通りにはできなかった。集会や活動の形態を引き続き工夫していく必要がある。</p>